

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	食品のための臨床検査学						授業形態		講義	
科目コード	278601	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	
担当教員名	矢野原 泰士、二宮 るみ子、橋倉 悠輝、山田 明輝								ICT活 用	○
授業概要	本科目の目的は、健康状態に応じた食品摂取および健康食品の適切な利用を判断する能力を養うことです。 健康状態の情報を得るための手段が臨床検査です。検査値から健康状態を推定できる能力を身に付けるよう、疾患ごとに、疾患の概要、検査の種類、検査値の読み方、基準値を説明します。臨床検査技師としての実務経験に基づき、最新の情報にも触れます。 疾病の治療には栄養管理が欠かせません。日常の食生活も含めて、食品・健康食品の適正な摂取が判断できる能力を身に付けるよう、主な疾患の栄養管理・栄養療法を解説します。管理栄養士としての実務経験から得た知見をもとに、栄養管理の現状と課題にも触れます。									
関連する科目	「生理学」を履修済みであることが望ましい。本科目と同時期に開講される「薬理学」を履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	テキストに沿って授業を進めます。必要に応じて、テキストの内容を補うための資料プリントを配付します。 授業中に随時発言・発表を求めることがあります。授業の開始時または終了時に小テスト（予習テストあるいは復習テスト）を実施することがあります。									
授業計画 【第1回】	臨床検査総論（橋倉悠輝） 臨床検査の基本を学びます。									
授業計画 【第2回】	疾患予防と臨床検査（山田明輝） 臨床検査の基本を学びます。									
授業計画 【第3回】	循環器疾患における臨床検査（橋倉悠輝） 主な疾患の臨床検査を学びます。									
授業計画 【第4回】	代謝系疾患（糖尿病、脂質異常症）における臨床検査（山田明輝） 主な疾患の臨床検査を学びます。									
授業計画 【第5回】	代謝系疾患（肥満・肥満症、痛風・高尿酸血症、骨粗鬆症）における臨床検査（山田明輝） 主な疾患の臨床検査を学びます。									
授業計画 【第6回】	脳血管疾患における臨床検査（橋倉悠輝） 主な疾患の臨床検査を学びます。									
授業計画 【第7回】	血液疾患（赤血球関連の疾患）における臨床検査（橋倉悠輝） 主な疾患の臨床検査を学びます。									
授業計画 【第8回】	腎疾患における臨床検査（山田明輝） 主な疾患の臨床検査を学びます。									
授業計画 【第9回】	血液疾患（白血球関連の疾患、血小板および凝固関連の疾患）における臨床検査（橋倉悠輝） 主な疾患の臨床検査を学びます。									
授業計画 【第10回】	肝疾患における臨床検査（山田明輝） 主な疾患の臨床検査を学びます。									

授業計画 【第11回】	傷病者の栄養管理と栄養基準の設定（二宮るみ子） 病態栄養管理の基本と主な疾患の栄養管理を学びます。
授業計画 【第12回】	栄養成分別栄養管理（主にエネルギーを調整する疾患）（二宮るみ子） 病態栄養管理の基本と主な疾患の栄養管理を学びます。
授業計画 【第13回】	栄養成分別栄養管理（主にタンパク質を調整する疾患）（二宮るみ子） 病態栄養管理の基本と主な疾患の栄養管理を学びます。
授業計画 【第14回】	栄養成分別栄養管理（主に脂質を調整する疾患）（二宮るみ子） 病態栄養管理の基本と主な疾患の栄養管理を学びます。
授業計画 【第15回】	栄養成分別栄養管理（食事形態の調整を行う疾患）（二宮るみ子） 病態栄養管理の基本と主な疾患の栄養管理を学びます。
授業の到達目標	1. 疾患ごとに、疾患の概要、臨床検査の種類、検査値の読み方、基準値などの知識を身に付け、検査値から健康状態を推定できるようになる。 2. 栄養障害・栄養療法の基礎知識を身に付け、食品・健康食品の摂取の在り方を説明できるようになる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	予習1時間：前回までの授業内容を振り返ったうえで、テキストを予習してから授業にのぞんでください。
授業時間外学習【復習】	復習3時間：授業後には、テキストや配付資料をもとにノートを整理してください。下記の参考書などにより理解を深め、知識を広げるよう努めてください。
課題に対する フィードバック	小テスト、定期試験の実施後に問題の解説を行います。
評価方法・基準	定期試験：80点 小テスト：10点 授業に対する積極性：10点
テキスト	食の機能と健康の科学(日本食品安全協会)
参考書	シンプル解剖生理学（河田光博・樋口隆著、南江堂） 健康食品管理士認定試験のための問題解説集（日本食品安全協会） 診断に直結する検査値の読み方事典（中原一彦監修、総合医学社）
備考	健康食品管理士認定試験の受験資格を得るための必要科目である。